

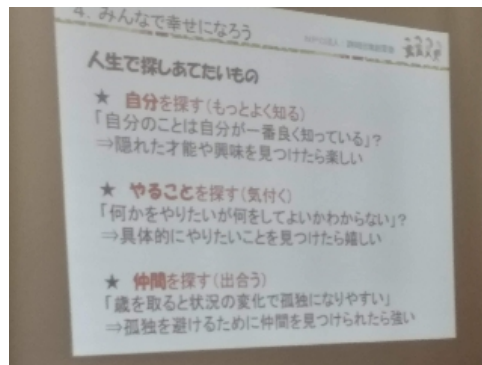
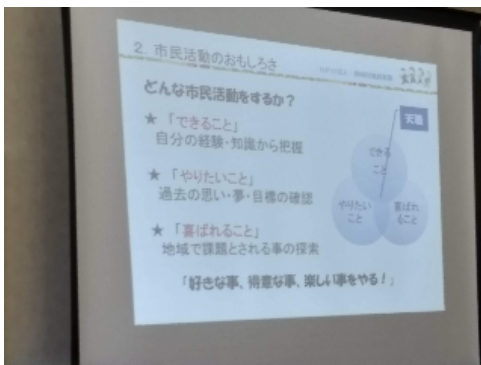
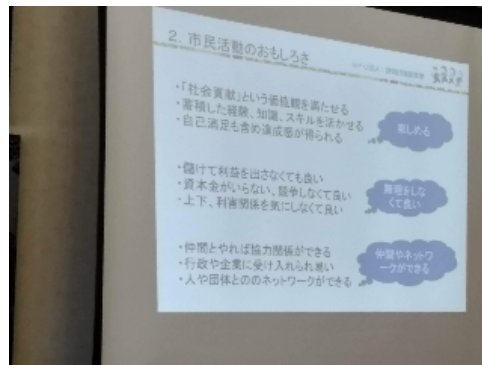
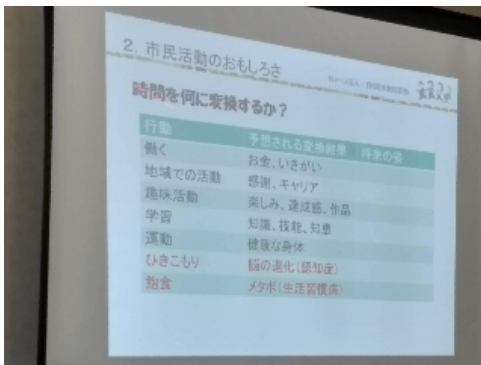


焼津市で行われている市民活動支援・実践講座第2回が、令和元年 11月16日“市民活動センターくるさ〜”で開かれました。(1回目の内容は11/7の記事をご覧ください)

今回の内容は「巻き込み方と伝え方」。講師は、SOHO静岡が主催した団塊創業塾で出会い、その後NPO法人静岡団塊創業塾を立ち上げ、現在も様々な活躍をされているお二人です。

前半はNPO法人静岡団塊創業塾理事長 原田和正氏が「年齢なんて関係ない！イキイキ生きるが第一歩」と題し、現在に至るまでの経緯や活動の様子、くれば座という部活の様な演劇活動の様子などを紹介後、

- * 市民活動のおもしろさ
 - * 仲間を巻き込み増やすには
 - * みんなで幸せになろう
- という項目に沿ってお話し下さいました。



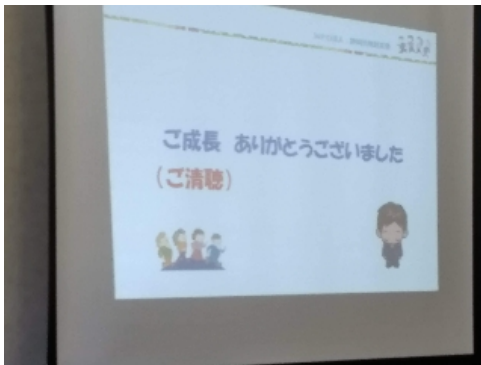
これまで働くことで生きがいや収入を得てきた人も、仕事を辞めた段階で次は時間を何に変換させるのかを考えた時、市民活動という選択肢がある。

人は健康でいることだけでも大きな社会貢献になる。地域での支え合いが求められている時代なので、健康なら思い切り支える側に回ることもでき、喜ばれることで更にまた元気になれる。最期はNNK(ネンネンコロリ)ではなく、PPK(ピンピンコロリ)の人生にしたいものだが、その元気のためには人と交わり、コミュニケーションを取ることでできる市民活動はお勧め、というお話とともに

- きょうよう(教養)・・・今日用事がある
- きょういく(教育)・・・今日行くところがある
- きょうそう(競争? 共創が良い)・・・今日相談する人がいる
- きょうやく(協約)・・・今日役割りがある

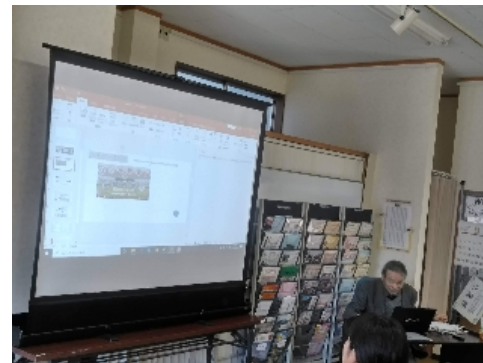
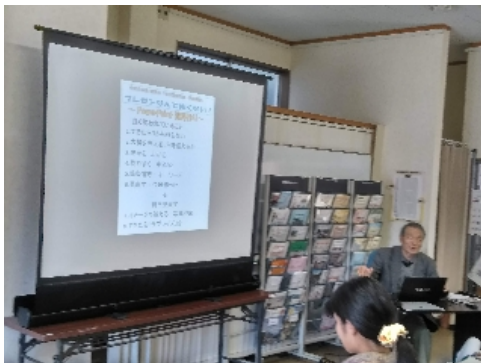
の日々を送りたい。そして良好なコミュニケーションを取るために、まずは人の話をよく聞き、自己開示を重ねることで、他者から人間的な側面を理解してもらえ、自分自身のことも理解できるようになる。出会いを活かし、人の長所を認めることは、特にコミュニケーション作りが苦手な男性には大切。【プライドを捨てると、それをプライドにできる】という深い言葉も添えられました。

人には皆持って生まれたもの(能力)があるので、それを活かすことを考え、『行動こそが未来を変える』というキーワードを心に留め、自分の未来を幸せなものにして行こう！というお話に、獺とした先が見えてくる想いを持った方も多かったのではないのでしょうか。



最後は「意味ある出会いは人を成長させる」というメッセージを込め、『ご清聴(ご成長)ありがとうございました』と結び、皆さんの大きな笑みを誘いました。

イキイキできる居場所を見つけ、好奇心を持つことで老いは遠ざけることができる。・・その姿は第1回講座の若い人たちの生き方とつながっていて、そこに世代間格差はないと思えたお話でした。



後半は静岡団塊創業塾の前理事であり、現在はリアル野球盤協会会長や金谷コミュニティ委員会 地域振興部会 など様々な活動に携わられる鈴木久雄氏の「プレゼンなんて怖くない！ 楽しく伝えるイロハ」と題した講座です。

プレゼンをする際のパワーポイントを使った資料作りが、要領よく簡単にできる方法をやさしく解説。普段パソコンを使い慣れている人でも意外に知らないテクニックが満載！の内容でした。

ただプレゼンは説明技術や話し上手であることが大事なのではなく、一生懸命練習し、熱く話すことで伝わるので、資料が上手くできなくても自信をもって臨んでください、とのアドバイスや、わからないことは何時でも聞きに来てください、という温かい言葉も添えていただきました。

こういった資料作りの為の工夫やパソコンの新しい使い方を見つけるのが楽しくて仕方がない、とおっしゃる鈴木さんは、まさにイキイキ輝ける場所を見つけた方のお手本のよう。これまでの活動の中で行った、金谷コミュニティビジネス(全国的には徳島県の葉っぱビジネスが有名)アイデアコンテストで賞を取った方々も、それを更に深めて広げ、素敵な活動につなげているそうです。

地域を活性化させるアイデアコンテストは、ウズウズしている人を引き出し同志を集めるのにとっても良い手法だというお話も披露して下さいました。



始まりの挨拶では司会者から若い参加者に向け、「シニアの力をこれからの自分たちにどう取り入れていこうかという見方を持ちながら聴いて下さい」というメッセージがありましたが、世代を超えた内容に対し、終了後も講師のお二人と話をされる皆さんの姿に熱意が感じられました。

静岡団塊創業塾の様々な活動を覗いてみたい、と興味を持たれた方は、ホームページを是非ご覧ください。居場所「くれば」の様子や予定を案内してくれるメルマガ(毎月25日発行)もありますので、ご希望の方は下記アドレスまで「メルマガ希望」と書いてご連絡ください。

メールアドレス: welcome@dankai.org

志太榛北地区担当特派員 増田昌江

[関連リンク](#)